

ゴリラとエコツーリズム展

6月18日(火)~23日(日) 12:00~19:00 *界 即 画 原*

金土は、ゴリラcafe (ガボン、コンゴ、ルワンダのコーヒー) 開催しています。 日曜夜は、ゴリラbar (アフリカ料理も出ます)

お話とポポク報告会 6月23日(日) 15時~「ゴリラッアーの過去・現在・未来」

戸田恵美(ポポフ日本支部) オーグスティン・カニュニ・バサボセ(コンゴ民主共和 国中央科学研究所) 山極寿一(ポポフ日本支部)

ゴリラを観光対象にしてツアーが始まったのはアフリカ 中央部にあるヴィルンガ火山群で、1950年代の半ばごろです。当時、日本で成功したニホンザルの野猿公園にヒントを得たのがきっかけでした。でも、ゴリラの餌付けは成功せず、やがて1960年代の独立紛争のなかで挫折していきました。再びゴリラツアーが試みられたのは1970年代で、ヴィルンガとコンゴ民主共和国のカフジでそれぞれ独立に始められました。それから40年の間に、さまざまな紆余曲折を経て、ゴリラツアーは世界的に有名になりました。ルワンダでは国を挙げてこの事業に取り組んでいます。ゴリラツアーを新しく立ち上げようとしている国もあります。そこで、現在ゴリラツアーを実施しているマウンテンゴリラとポポフの活動しているヒガシローランドのツアーを例にとり、エコツーリズムの魅力とその問題点について話し合いたいと思います。合わせてこれからゴリラのエコツアーを計画しようとしているガボンのニシローランドゴリラについても話題を広げたいと思っています。ぜひ興味のある方はご参加ください。

参加費:2000円(コーヒーとゴリラクッキー付き)ご予約下さい。